

2025 年度 授業コード：23104500

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NT21802J
学習課題（予習・復習）										1回の目安時間（時間）	
予習：該当部分について教科書で確認する。 復習：該当部分を理解する。										4	
授業計画											
第1回	<p>テーマ：オリエンテーション、疾病治療の基礎、意義と目的</p> <p>授業の概要について説明し、その履修方法や授業の目的、達成の目安、評価の内容と方法を理解する。</p> <p>疾病を理解するための基本を理解する。</p> <p>参照ページ：p.1-30</p>										
第2回	<p>テーマ：傷病者・要介護者および障がい者の栄養管理</p> <p>医療・介護保険制度に基づいて傷病者、要介護者および障がい者の栄養管理の実践および活動を理解する。</p> <p>地域包括ケアシステム、緩和ケア、チーム医療、リスクマネジメント、薬物と栄養・食事の相互作用を理解する。</p> <p>参照ページ：p.41-56</p>										
第3回	<p>テーマ：栄養ケアプロセス</p> <p>栄養診断用語、栄養ケアプロセス（NCP）の手順や記録方法を理解する。</p> <p>参照ページ：p.57-87</p>										
第4回	<p>テーマ：血液系疾患、運動器系疾患</p> <p>疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。</p> <p>参照ページ：p.268-287</p>										
第5回	<p>テーマ：精神・神経疾患、呼吸器系</p> <p>疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。</p> <p>参照ページ：p.252-267</p>										
第6回	<p>テーマ：代謝・内分泌系疾患Ⅰ</p> <p>疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。</p> <p>参照ページ：p.118-141</p>										
第7回	<p>テーマ：2型糖尿病治療食の実践【演習】</p> <p>疾患概要、糖尿病食品交換表を使用した1食分の栄養価計算（レポート提出）</p> <p>参照ページ：糖尿病食品交換表すべて</p>										
第8回	<p>テーマ：消化器系疾患</p> <p>疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。</p> <p>参照ページ：p.142-164</p>										
第9回	<p>テーマ：消化器・循環器系疾患、小テストを実施</p> <p>疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。</p> <p>参照ページ：p.164-191</p>										
第10回	<p>テーマ：腎・尿路系疾患Ⅰ</p> <p>疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。</p> <p>参照ページ：p.192-223</p>										

第 11 回	<p>テーマ：慢性腎臓病食、血液透析食の実際【演習】</p> <p>疾患概要、腎臓病食品交換表を使用した 1 食分の栄養価計算（レポート提出）</p> <p>参照ページ：腎臓病食品交換表すべて</p>
第 12 回	<p>テーマ：高齢期疾患</p> <p>疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。</p> <p>参照ページ：p. 355-368</p>
第 13 回	<p>テーマ：悪性腫瘍、周術期</p> <p>疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。</p> <p>参照ページ：p. 230-244</p>
第 14 回	<p>テーマ：栄養投与法</p> <p>疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。</p> <p>参照ページ：p. 88-102</p>
第 15 回	<p>テーマ：身体・知的・精神障がい者、総括</p> <p>疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。</p> <p>参照ページ：p. 317-323、その他</p>
テキスト	<p>塚原丘美編：日本栄養改善学会「第 7 巻臨床栄養学 Nutrition Care Process に沿った傷病者の栄養管理」（医歯薬出版株式会社）ISBN：978-4-263-72034-9</p> <p>鈴木純子編：新版臨床栄養学 栄養ケアプロセス演習―傷病者個々人の栄養ケアプラン作成の考え方―（株式会社同文書院）ISBN:978-4-8103-1508-0</p> <p>日本糖尿病学会編：「糖尿病食事療法のための食品交換表（第 7 版）」（文光堂）ISBN：978-4-8306-6046-7</p> <p>黒川清監修：「腎臓病食品交換表（第 9 版）」（医歯薬出版）ISBN：978-4-263-70674-9</p>
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>必要に応じて、資料を配付する。</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>レポートや小テストは評価して返却する。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>「生化学」「疾病診断治療学」「病理学」「基礎栄養学」「応用栄養学」「栄養教育論」で修得した知識を必要とします。特に疾患の成因・病態および治療法（「人体構造機能と疾病の成り立ち」等）に関する知識を必要とします。</p> <p>栄養治療学はこれまで学んできた「生化学」「疾病診断治療学」「病理学」「基礎栄養学」「応用栄養学」「栄養教育論」等を基に、管理栄養士として必要な実践的な栄養ケアの知識を学ぶものです。これらの科目を復習するとともに、シラバスを参照し、講義内容について、予習して毎回の授業に臨んでください。特に 2 型糖尿病や慢性腎臓病などの栄養治療には食事療法が欠かせません。糖尿病食品交換表や腎臓病食品交換表の使用方法について具体的に解説します。日頃から食生活の中で、食品や料理に細心の注意を払い、食べ物を味わう心を磨いてください。</p>

